

ふね遺産認定記念 2021年度企画展

ふね遺産 進徳丸

The Ship Heritage Shintoku maru

ふね遺産とは、歴史的で学術的・技術的に価値のある船舟類及びその関連設備を「ふね遺産」(Ship Heritage)として認定し社会に周知し、文化的遺産として次世代に伝えるとともに、「ふね遺産」を通じて、国民の船についての関心・誇り・憧憬を醸成し、歴史的・文化的価値のあるものを大切に保存しようとする気運を高め、我が国における今後の船舶海洋技術の幅広い裾野を形成することを目的とします。この認定制度は公益社団法人日本船舶海洋工学会により平成29(2017)年に始まりました。

進徳丸は非現存船ですが、大正12(1923)年12月9日に三菱神戸造船所において神戸高等商船学校の帆船練習船として進水し、大正、昭和、平成の時代を経て、令和3(2021)年7月20日、ふね遺産第38号(非現存船第8号)に認定されました。



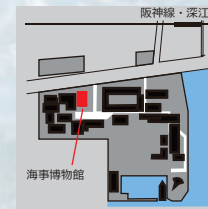
このたび、ふね遺産への認定・登録を記念し、また、進徳丸という練習船がこの世に存在したことの証として特別展を組みました。一万一千有余に及ぶ海の若人を輩出した日本史上最大のバーカンティン型練習帆船、のちに汽船練習船「進徳丸」の在りし日の英姿をご覧いただくとともに、関東大震災の3ヶ月後に進水し、戦禍を経て阪神・淡路大震災に終わるといふ波乱に満ちたその生涯を時代背景とともに辿ってください。

来館のご案内

■開館日：毎週金曜日、13:30~16:00(祝日を除く、要事前予約)
ただし、8/9(月)~19(木)、12/23(木)~1/16(日)は休館

■神戸大学海事博物館 〒658-0022 兵庫県神戸市東灘区深江南町5-1-1
(事務室 Tel: 078-431-3564 問合せ: 月・水・金の13:30~16:00(祝日を除く))
※新型コロナウイルス対策実施中です。開館日時を変更する場合がございます。
<http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp>

写真(左下から) 進徳丸進水、汽走中の進徳丸、戦時中に二見沖擱座した進徳丸、帆装撤去後の汽船進徳丸
(右上から) 陸上げ保存の進徳丸、震災による進徳丸解体撤去、南面する進徳丸メモリアルと練習船深江丸



【交通アクセス】

神戸大学深江キャンパス
阪神電車・深江駅から南西へ徒歩約10分



表紙デザイン: 凸版印刷株式会社 裏面背景: 練習船深江丸の航跡

2021 **7.30** Fr. ▶ 2022 **5.27** Fr.